

「ダーナ」とはサンスクリット語で、[布施]の意。

ダーナ●第19号

発行日●平成23年12月20日

編集／発行●浄土宗平和協会（JPA）

発行人●荻野順雄

Jodo Shu Peace Association

今回のダーナでは、11月17日の宗務総長選挙にて、新しく宗務総長に就任された豊岡鐮尔師（伊賀教区上野組念佛寺住職）に、浄土宗平和協会への期待をお聞きした。

「平和」ということを考えるのは、仏教のみならず宗教者として、とても大切なテーマのひとつです。現在、世界には様々な紛争があり、その該当地域に暮らす人々はもちろん、世界中の人々が平和を願っているながら、現実にはなかなかそうならないのは悲しいことです。

紛争の背景には、しばしば宗教の問題がいわれませんが、一宗教者である個人としても、浄土宗にとっても「平和」をテーマにした活動は、重要なものであると同時に、とても難しい問題であると認識しています。

宗教の「自」と「他」を区別する偏狭性の一面が、時に狂信的な人々を「他」の排除へと駆り立てるのかもしれませんが、しかし、どの宗教にも通ずるであろう万人救済の願いをこそ、私は信じたいし、そこに我々宗教者の使命を感じるのです。

「平和」を名称に掲げた浄土宗平和協会には、「非暴力・共生・万人平等救済」という法然上人の精神を具現化する活動を期待したいところです。

しかしながら、紛争の場へと出向き、直接的に平和活動を行う事は、とても大切なことですが、容易なことではありません。ある意味、浄土宗そのものが平和団体といっても過言ではありませんが、平和を実現す

## 新宗務総長に聞く 法然上人の精神 具現化する活動を

るための具体的な行動を、浄土宗でさえまだその答えを明確に見つけられてはいないと思います。

「平和念仏募金」による、海外で活躍する日本のNGOに対する支援活動や、社会参加する寺院や宗侶を顕彰する「浄土宗平和賞」、日本国内で勉学に励む私費留学生を対象に研究・勉強のための書籍を贈呈する「ブック・ギフト」事業など、創立20周年を経て、活動の幅を益々広げられているように聞きます。しかしその活動が、まだ浄土宗教師一人ひとりの心に響いているわけではないと思います。

荻野理事長を始め、役員のみなさん方の「平和」を希求する熱い思いを事ある毎に届けていただき、その思いが大きくなるとなると、浄土宗の世界平和を願う活動となることを期待いたします。

同時に、浄土宗平和協会の活動が、浄土宗教師一人ひとりの自己研鑽や修練につながるようになればと願っています。

新宗務総長に就任された豊岡鐮尔師



## 関西でも実施を始める ～ブック・ギフト、東西55名に希望図書を贈呈～



大本山増上寺でのブック・ギフトin Tokyoの授与式



大本山知恩寺でのブック・ギフトin Kansaiの授与式。

東京・大本山増上寺で、京都・大本山知恩寺で、希望する本を受け取り、留学生に笑顔があふれた一浄土宗平和協会の主事業の一つである私費留学生図書支援ブック・ギフトが、東京とともに今年から新たに京都会場が増え、12月初旬、2カ所で合計55人が希望する図書を受け取った。

ブック・ギフトin Tokyoは、今年で4回目。都内の13大学から応募があった。12月4日欠席者を除き25人が、大本山増上寺大殿に集まり、浄平協副理事長小林正道上人から立教大学大学院生の金皎環（キム・ミンギョン）さんが代表して書籍を受け取った。今年のレポートの

テーマは、「日本人の良いところ、悪いところ」、様々な視点から、ハッとするような鋭い指摘がある小論文が目立った。会場を移し、それぞれの図書を贈呈した。土屋正道東京教区教化団長から、印象的なお話を伺った

ブック・ギフトin Kansaiは12月11日大本山知恩寺に於いて開催され、近畿各地の私費留学生17名が参加した。まず御影堂で小泉副理事長導師のもとお勤めをし、留学生も一緒に一枚起請文を拝読し百万遍数珠繰りを行った。

その後、場所を衆会堂に移し図書贈呈式を執り行った。初めに大本山知恩寺法主・服部法丸台下から、留学生代表鮑嘯軼（ホウ・ショウイツ）さんに希望の図書が贈呈され、激励の言葉がかけられた。続いて小泉副理事長によって、残り16名の留学生に図書が手渡された。図書贈呈後、服部法主台下よりご垂示をいただき、山北人権同和室長らからご挨拶があった。その後、留学生たちを囲んで座談会を行い、各自勉強している内容や、希望図書について語ってもらった。ある学生は、「希望する図書が高額で購入できず、図書館で借りたものには書き込みをしたくてもできなかったが、これで書き込みができる」と喜びの声を口にしていた。

また留学生たちは一様に「自身の研究・勉学を活かして世界平和に貢献したい」と希望を述べていた。

### 勤勉さから見えること

羅 聡 (中国・東京大学)

日本に来てまる1年が経った。そんな僕は、日本語学校で様々な外国人に出会って、さらに今年の4月に東京大学に入り、周りの日本人とつきあい始めた。そのような経験の中、日本人が華人（ここで華人と使う理由は中国だけでなく、香港、台湾も含まれる）と、そして欧米人との間の違いが少しわかってきた。

相違のあるところが、自分の視点から見た時に、良いのか悪いのかを伝えたいと思う。

日本人の世界的に印象として、勤勉があげられるだろう。日本国内でも、精緻に追求する職人たちや技術者達が手作りでのこの国の経済を支えてい

る。大学の図書館で、朝から夜まで勉強をし続ける学生の姿もよく見られる。学力が高い、頭脳がすぐれている東大生でも高い効率を保ちながら、時間をかけて最大の効果を追求する。ところがこのような姿は学生の中にごく少数しかいないのである。

多くの人は、やはり自宅で勉強したり、知り合いのいない「隅」で勉強したりしている。「あの人全くやっていないのに」高い成績を手に入れた。

日本人は、留学する時「言葉になれるまで口に出さない」という法則を守っているようだ。初心者から上級者までの努力を隠して、自信を持って初めて他人に見せるところで成果を露出する。

これは、よいか悪いかは、人の文化背景によって異なるかもしれないが、日本人は他人の目線を気にする傾向が高い。日本人は礼儀正しい、他人に迷惑をかけないという点で世界で有名である。これもそういう理由からだと思う。

僕は日本語を1年しか勉強していないから、書くのも話すのも上手ではな

い。しかし周りの日本人の友達と話をして、日本語で小論文を書くコンテストに応募したりしている。

自分の弱いところを他人に見せることは、アドバイスを受けられ、一層勉強する意欲が高まる。どんなプロであっても、初心者からスタートする以外に道はないのだから、自分がかんばっている姿を隠さず、もっと日本の空気の中に勤勉のにおいをあふれさせてほしいと思う。

より強い日本、より強い日本人の心を震災の復興と共に作りあげよう。

### 和を以て貴し

金 皎環 (韓国・立教大学)

日本人の良いところ悪いところについて語るためには、まず日本人の特徴について語らねばならないだろう。

私が知る日本人の特徴、特性とは、民族性と国家性が一体化していることである。民族と国家は、元来別の枠組みだと思われるが、日本においてはそれは混ざり合い、一つになっているよ

うに見える。国家としての日本は、明治新政府によって作られたという歴史理解は成り立つ。そしてその「国家としての日本」は、臣民を道徳的・文化的に教育し、彼らに相続可能な価値観を与えた。

では、その相続可能な価値観とは何だったのか。私はそれを「和を以て貴しとなす」の理念と見なしたい。これは、聖徳太子によって広められたといわれる理念である。

「和」とは「調和」のことだが、明治以降、この理念が国民教育の現場で掲げられることにより、日本人の間には「和合」の価値観が広がり、それが民族としての日本知をも構成する要素にもなったと思われる。

日本人の良いところと悪いところがあるとすると、この「和を以て貴しとなす」という理念であろう。最近の日本人達の間には、「空気を読め」という価値観が広まっているように見えるが、これはもしかしたら「和を以て貴しとなす」の理念に基づいているのかもしれない。

しかし、これは時に他人に同調を強

### 2011ブック・ギフト贈呈内容

- 応募者数  
35人 (Tokyo)、20人 (Kansai)
- 授与式参加者数  
25人 (Tokyo)、17人 (Kansai)
- 応募者国  
中国30人、韓国4人、台湾1人 (Tokyo)  
中国13人、韓国3人、台湾1人、ベトナム2人、カナダ1人 (Kansai)
- 応募者大学別一覧 (応募者数順)  
東京大学9人、立教大学4人、順天堂大学、  
武蔵野大学各4人、駒澤大学3人、東京農  
業大学／拓殖大学各2人、東京医科歯科大  
学／一橋大学／恵泉女学園大学／東京外国  
語大学／武蔵野音楽大学／明治大学各1人  
(Tokyo)  
京都大学10人、滋賀医科大学2人、大阪電  
気通信大学、大阪市立大学、甲南大学、大  
谷大学、同志社大学、長浜バイオ大学院  
大学、神戸女子大学、京都精華大学各1人  
(Kansai)
- 応募者在籍一覧  
大学院22人、学部10人、研究生3人 (Tokyo)  
大学院12人、学部7人、研究生1人 (Kansai)



第4回のブック・ギフト事業は、今年初めて関西でも開催しました。関西での実施にあたって、中心的な役割を果たしていただいた、山川正道理事にお話をお伺いしました。

ブック・ギフト事業の意義については、理事として疑うところはありませんでしたが、全国で約10万人ともいわれる私費留学生がいる中で、その活動を全国に広げることを望んでいました。

今回、4年目の実施にあたって、関西圏でもスタートしたことは、たいへん意義のあることだと感じてい

ます。小泉副理事長始め、諸師の献身的なご助力があつて、無事終えることができたことをうれしく思っています。

国家間では、様々な問題を抱えつつも、授与式を終えた懇親会で、留学生のみなさんが異口同音に、東北大地震に対して心を痛めていること、また日本人の良さにふれ、感謝をしていることを述べられたことに、共生の精神は、万国共通であることを確信しました。

関西はもとより、全国にこの活動が広まって、浄平協のさらなる発展と共に、世界平和を願う留学生のみなさんとの心の絆が、より強固なものになることを願っています。

いたり、個性を打ち消したりする危険もあるだろう。「空気を読め」という価値観はまさにそれである。日本人の悪いところをいってあげるとすれば、これになるのではないか。しかし、これにはもちろん良い面もある。特に社会が滞りなく運行するためには、「和」が重要な役割を果たすという考え方は、対立を解消し、社会として何かを成し遂げる助けとなるだろう。これは日本のまさに良い面といえるのではないか。

今、東北大震災の後で、未曾有の危機に直面しているが、日本人の中で培われた「和」がその力を発揮する時ではないか、とも考えられる。

以上のように、国として、また民族としての日本には、「和」という理念が受け継がれているが、それは悪い面と良い面の両方を持ち合わせているように見える。

### 笑顔に感謝

張 育慧 (中国・京都大学)

良い悪いと評価するのはあくまでも個人的な意見ですが、ここで日本人のいくつかの特徴を挙げ、私から見る日本人の良いところ悪いところを述べようと思います。



知恩寺にて数珠繰りを体験する留学生のみなさん

### 1. 日本人の良いところ

——やさしさの表現

初めて日本に来た時に感じたのは、周りの「笑顔」でした。特に地方ではそうです。町を歩いていたら、「こんにちは」と微笑みながら挨拶してくるおばあさんもいますし、黄色い帽子をかぶっている幼稚園の子どもたちも笑顔で手を振ってくれます。それは、日本人にとっては多分ごく普通のことなのかもしれません。日本に1年間だけいる私にとっても、周りのそういう「笑顔」になれてしまいました。

一時帰国した時に、逆に驚いたのが、周りの人々がどうして笑顔じゃないのかということでした。ごく普通なそういう行動は、実は心の余裕と人への善意を表す心の豊かさが必要となる上に、社会的安定、信頼し合うという外部環境がなければ、とても簡単にできません。

そのようなやさしさの「笑顔」があるからこそ、日本は世界的に観光客に魅力を与えているのではないかと考えます。

同様に、「お疲れ様」も、毎日日本人の誰もが使うセリフです。海外にいる日本人に対して、一日の仕事が終わって疲れた時に、周りに言ってほしいのはそのセリフです。しかしそういう表現のない外国では、1回も言われたことがなく、寂しい

と、ある日本人の友だちが言っていました。

日本人は、やさしさを表現するのが上手だと思います。そのやさしさから、民族性の中に流れる柔軟性と善意を感じ、それが日本人の良いところだと思います。

### 2. 日本人の悪いところ

ろ

——権威へのコンプレックス

地方に行って聞き取り調査をした時のことです。身分を示さなくても、普通に親しく話してくれました。ところが、「〇〇大学の学生です」と言ったら、いきなり敬語を使われたことがあります。後で考えれば、その反応はコンプレックスを感じる時に反応ではないかと考えました。ブランド品へのこだわりももしかしたらそうです。

高度成長期の時に起こった水俣病の原因究明が進められている頃、御用学者、特に名門大学の教授先生の迷信のために、地元で一生懸命に原因物質を探る熊本大学の学者は無視され、差別を受け、批判のあげくに原因究明が遅れてしまった、ということがあったと聞きました。

どれほど地位の高い人、偉い人、有名な人と言っても、同じ人間なので、コンプレックスを捨て、経緯を示しながら、平等的につきあえばいいと私は思っています。

日本人の悪いところは、まさにその「私なんて」というコンプレックスを持って行動するところだと思います。

### 受容力と頑固さと

梁 衛偉 (中国・同志社大学)

私は2009年9月に日本に来て、もう2年が経った。この2年間、私は留学生別科で日本語を勉強する学生から、日本の大学で商業に関する専門知識を勉強する大学生になった。また、勉強だけではなく、日本式居酒屋、スーパー、レストランなど、いろいろな違う雰囲気のところ、アルバイトをした。その他、関西、関東、北海道など、多くのところへ旅行にも行った。

そんな経験の中で、日本人の先生、

学生、売り場の人、サラリーマン、レストランの常連客、知らない通行人など、多くの日本人と出会って、その良いところと悪いところを感じた。

日本人の良いところはというと、やさしい、誠実などは言うまでもないが、環境や障害者への配慮、勉強に対しての熱心さなども感じた。しかし、私の考える日本人の一番いいところは、違う文化を受け取る能力と文化の創造力だ。

日本では、昔から仏教が人々の生活と考え方に大きな影響を与えてきた。だから多くの日本人は、仏さまの存在を信じて、真善美を追求し、世の中のルールを周りながら生活してきた。なのに、キリスト教をも受容し、宗教のみならず多くの違う文化を取り入れながら、想像力と創造力を高めてきたのだ。

また日本語も、文化の受容力の賜物だと感じる。日本語には、中国から取り入れた漢字もあれば、欧米から取り入れた英語もあれば、スペイン語

の発音もある。日本人が使ったカタカナもある。違う文化を取り入れることは、国の経済、文化の発展にとって、非常に大切な事だと思うので、異文化の受容能力と文化創造力の高さが日本人の一番良いところだと思う。

その一方で、日本人も、アジア人共通の短所を持っていると思う。たとえば、古いしきたりにこだわって、斬新さを求めないことや、古くて融通がきかないことだ。また、日本人は環境への配慮が不十分だと思う。

日本のスーパーでは、魚類から野菜、果実まで、プラスチックパックやビニールパックなどに詰められている。私のような外国人から見れば、それは環境にやさしいことではないと感じる。

しかし、日本人の友だちに聞くと、



大本山増上寺にて授与式にのぞむ留学生のみなさん

「それは当然のことだ」と言う。日本人はプラスチックパックなどは、リサイクルできるので、制限無しに使っているのだ。

たしかにリサイクルはできる。しかし、リサイクルするためにも、多くの労働力とお金と時間がかかる。このようなことは、経済的でないと思う。それが日本人の悪いところだと思う。

私は日本人の良いところと悪いところを見て、自分も反省し、自分自身の本質を高めたいと思っている。

### 第4回ブック・ギフトで私費留学生に贈呈した書籍一覧

#### 【東京会場】

東京大学フランス語教材(テキスト+CD)、TOEIC(R)TESTこれ1冊で990点満点(CD BOOK)、TOEICテスト超リアル模試600問(CD-ROM付)、マッキンゼー式最強の問題解決テクニック、コンサルティング業界大研究、知覚の現象学2、遠近の回想 増補新版、小学館日韓辞典、すぐわかるPhotoshop CS5、テキスト上級簿記、TOEFL TEST対策ITP模試3回、これならわかるTOEFL ITPテスト文法マスター440、はじめてのTOEFL ITP模試4回分、ネイティブ英会話フレーズ集3240—スーパーCD4枚付き、ロングマン新TOEICテスト 完全オーディオパック700点クリアコース、投資価値理論(ウィザードブックシリーズ)、産婦人科手術シリーズ—Color atlas(5)、肝胆膵の画像診断—CT・MRIを中心に(『画像診断』別冊KEY BOOKシリーズ)、病気がみえる〈vol.9〉婦人科・乳腺外科、新版グローバリゼーション(〈1冊でわかる〉シリーズ、TOEICテスト新公式問題集〈Vol.4〉、TOEICテスト新公式問題集〈Vol.3〉、TOEICテストはじめて覚える英単語と英熟語、吉本ばなな自選選集〈1〉Occult オカルト、吉本ばなな自選選集〈2〉LOVE、吉本ばなな自選選集〈3〉Death、吉本ばなな自選選集〈4〉、LIFEマーケティング(New Liberal Arts)、コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 基本編、図解入門ビジネス、最新コーポレートファイナンスの理論と仕組みがよーくわかる本、クルーグマンマクロ経済学、いかにして問題をとくか、21世紀の歴史—未来の人類から見た世界—

#### 【関西会場】

民法講義1第3版総則、新明解国語辞典第6版、麒麟の翼、半導体フォトニクス工学、マーケティング、消費者行動論体系、これならできるロボット創造設計、非円形歯車の設計・製作と応用、Motor Fan illustrated vol.37電動自動車のテクノロジー、クルーグマンの国際経済学理論と政策・貿易編、クルーグマンの国際経済学理論と政策 金融編、広告は私たちに微笑みかける死体、超大国アメリカの文化力、アジア三国志、世界を変えた10冊の本、TOEIC(R)テスト公式プラクティス・リスニング編、TOEICテスト新公式問題集vol.4、社会経済システムの制度分析—マルクスとケインズを超えて、初級を教える人のための日本語文法ハンドブック、中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック、日本語教師と学習者のための文型辞典、日本語教育のための誤用分析 中国語話者の母語干渉20例、初期唯識思想の研究—唯識無境と三性節—、新装版 合本 公害原論、環境経済学(現代経済学入門)、水俣病に学ぶ旅—水俣病の前に水俣病はなかった、菊と刀(対訳ニッポン双書、タンバク質実験ハンドブック第2版—取り扱いの基礎から機能的解析まで完全網羅!、クルーグマンの国際経済学理論と政策(上)貿易編、クルーグマンの国際経済学理論と政策(下)金融編、会社四季報業界地図2012年版、会計のことがおもしろいほどわかる本—会計の基本の本論、合格トレーニング日商簿記2級工業簿記Ver.50、環境六法、一億人の英文法、KAPLAN MCAT2010-2011 PREMIER

混迷する現代社会に対し、われわれ浄土宗は何を放つ存在であり得るのか。法然上人の説かれた「愚者の自覚」に立ち返って、肥大する数々の課題をどのように向き合うことができるのか。今回は大阪教区大蓮寺住職・應典院代表の秋田光彦氏に寄稿いただきました。

秋田光彦（あきた・こうげん）  
大阪教区大蓮寺住職、應典院代表。1955年生。明治大学卒。97年に劇場型寺院應典院を再建、仏教、アート、まちづくりなど、「協働」と「対話」の新しい地域教育にかかわる。パドマ幼稚園園長、相愛大学客員教授などを務める。著書に「葬式をしない寺」（新潮新書）、釈迦宗師との共著で「仏教シネマ—お坊さんが読み説く映画の中の生老病死」（サンガ）。自己のFacebookでも発信中。



# 震災と仏教者。 「愚者」として寄り添う。

大阪教区大蓮寺住職／應典院代表

秋田 光彦

## ■一人称から問い直す

「3.11」東日本大震災から9ヶ月余り、復興への課題を持ち越して、新しい年を迎える。

歴史的な災厄を経て、伝統教団の内部からも、被災地の体験から学ぼうとする試みが始まっている。語り手は教団幹部や仏教学者ではなく、実際に現地に入って、救援や支援の現場に立ち臨んだ若い世代の僧侶たちだ。ボランティア、心のケア、弔い……壮絶な状況の中で、自分たちに何が出来て何が出来なかったのか、一人称の視点から震災とのかかわりを問い直す声が聞こえてくる。

被災地での体験を持ち寄った報告会が、宗門レベルでも頻繁に開かれている。どれも重い体験を背負った、当事者からの呻きのようだ。

「（放射線の安全基準が不確かで、分からないことからくる恐怖が大きいゆえ）差別に加担してしまう側を頭ごなしに糾弾すれば、かえって差別意識が地下に潜る恐れがある」（原発近くの寺院副住職）

「震災後、被災者以外の悩む人が、被災地に注目が集まるあまり、自分のつらさを正直に吐き出せない『置いてきぼり感』を抱いている」（被災地の寺院住職）

「生活がある程度落ち着いてくると自死のリスクが高まる。移住者支援が忘れられがちで、がんばって生きようというメッセージは危うい」（現地で自死対策に取り組む僧侶）

この報告会の主催は曹洞宗であり、発言した僧侶の多くも曹洞宗僧侶だ。被災地一帯は、曹洞宗寺院が圧倒的に多い。伝統的に、自力中心の救済を説いてきた禅僧たちが、生々しい体験を通して、仏教者としての問題意識をストレートに語る。これは一般に言われる「心のケア」という質感とは、一線を画するものではないか。

近年、仏教者による社会活動が、頻繁に議論される

ようになった。それまで民間のボランティアといえば、NGOの独壇場であったが、95年の阪神淡路大震災を契機として、教団内部にも何らかの支援体制が整っていく。浄土宗で言えば、浄土宗平和協会（当時浄土宗平和推進協議会）がそうだし、さらにアユス＝仏教国際協力ネットワークのように、超宗派の寺院が協働するケースなども珍しくなくなった。

ただ問題がないわけではない。教団なり仏教界周辺に、救援・支援の基盤が整いつつあることは結構なことだが、それらが高度に専門化し、役割が分化していくうちに、結局一般寺院からは距離のある「職能集団」に陥ってしまう恐れもある。一個の仏教者としての認識や共感も乏しいまま、すべて「あなた任せ」となってしまうのは、本当の支援文化は育たない。

## ■もがき、悩み、気づく

今回の震災が、阪神の時と大きく異なっていたのは、若い仏教者たちの初期行動の早さだ。まだ教団が情報収集に翻弄されている最中、その頭越しに、単独で救援活動に乗り込んでいった僧侶は多い。駆けつけてはみたが、言語を絶する悲惨な状況に立ちすくみ、自分の無力さに打ちのめされたことだろう。夥しい死を目の当たりにして、遺体安置所で、埋葬地で、あるいは瓦礫下の発見現場で弔いの読経を続けた。葬儀社も、いや遺族さえ伴わない現場で、無辜の死者と向き合いながら、彼らは「僧侶の本分」を揺さぶられたに違いない。

また、今回の震災では、ツイッターやフェイスブックなど新しいメディアが威力を発揮した。情報はたちどころに共有され、無限に拡散していく。救援現場では、僧侶が日常ほとんど出会うこともない自治体やNPO職員との接触が飛躍的に増え、仏教やキリスト教、新宗教による超宗教の救援ネットワークも生ま

れた。狭い社会を一步外に踏み出せば、新たな対話や協働の可能性のあることを強く認識したことだろう。

また、被災地では、「葬儀をして救われた」という遺族の声が数多く聞かれた。盆や彼岸には、できるかぎりの供養が勤められ、人々は至心に祈りを捧げた。ここでは、安直な「葬式仏教」批判はうかがえない。なぜならその基盤には、長い歳月をかけて築かれてきた寺と地域の信頼関係が根太く横たわっていたからだ。

新年を迎え、2年越しの支援活動が続く。仮設住宅を一軒一軒訪ね歩き、心の見守り活動を続ける僧侶たちがいる。「坊主カフェ」を開いて、安らぎの場を設けている仏教者も多い。これからが正念場と、家族揃って移住した僧侶もいるという。どれも、「同悲・同苦」の立場で、ひとりの仏教者として他者に寄り添うことを目指している。

組織に依存せず、「個」として状況に対峙しながら、もがき、悩み、気づく様子が、今回の救援現場では様々に窺えた。

## ■僧侶とは何者か

仏教が社会の矛盾や不和、不寛容と向き合う時、さまざまな「もがき」を抱えないわけにいかない。相手は檀信徒とは限らない。仏教を求めているとも限らない。これは被災地の活動にも言えることだが、対象者の信念や価値観は多様であって、それをそのまま受け入れ、自分の信仰を押しつけない。そのスタンスは、ご本尊を背に檀信徒に語る「教化者モデル」とは明らかに異なる。

しかし、「もがき」の試行錯誤は、震災以前より始まっていた。ここ数年、各地域において、公共のサービスからこぼれおちる人々にかかわろうと行動する仏教者の姿を目にする。死を待つ末期患者やその家族、自死を念慮する人や自死者の遺族たち、また都市部では経済不況で急増する

野宿者支援に乗り出したケースも少なくない。中には貧困層のための葬送支援を行い、それによって葬式仏教の本義に目覚めた僧侶もいるという。

そこには「救ってあげる」「教えてあげる」の自意識は微塵もない。僧侶としての勇ましい使命感や責任感は棚上げして、相手の立場をどこまでも尊重し、そこに徹底して寄り添う「愚者」としての態度でしかない。「僧侶とは何者か」という古くて新しい問い——。組織の囲いを出て、単独者として立つ時、僧侶は自らの存在を激しく揺さぶられるのである。

むろん、これまでの寺檀関係は、教化活動の生命線に違いない。だが、それが内部の制度に旧態のまま閉ざされているとしたら、外部に開いて再構築していく試みをもっとあっていい。その延長線上に、震災の救援活動もあるのではないか。

日本仏教が、このたびの震災から学んだものは大きい。とりわけ被災地を経験した僧侶たちがそれぞれの地域に何を持ち帰り、何に取り組むのか、仏教と社会のかかわりについて新たな路が開かれるのかもしれない。寺がNPOを立ち上げるのもいいし、ツイッターで情報発信をするのもいい。もう一度「葬式仏教」の原点に立ち返り、儀礼や習わしから地域との関係を見直すこともあっていいだろう。

いずれにせよ、その試行錯誤の連続から、震災後の仏教の役割が浮かび上がってくる。



僧侶による路上生活者への支援活動（写真：「ひとさじの会」提供）

## 子どもの権利がまもられる社会に

平和念仏募金によるNGO支援に、今年より新たにNPO法人「国際子ども権利センター」が加わりました。国際子ども権利センターは、地球に生きる子どもたちの権利を実現するために「子どもの権利条約」「南のこども支援」「開発教育」の3つの柱を中心に市民参加による活動を行うNGOです。この縁を契機に、支援活動の活発化を願います。

### カンボジアの実態は

国際子ども権利センターは、子どもの権利を日本社会に広め、子どもの権利の視点から国際協力をすることを目的として、1992年に設立されました。

設立後は、ブラジルのストリートチルドレンの虐待に対する抗議キャンペーンや日比国際児（JFC）のために国籍法改正運動、フィリピンのNGOに対する資金協力、インドの児童労働問題などにとりくんできました。その活動は、アジアをはじめとした国内外のNGOや国連機関等と連携して確実な成果をあげています。

今回、浄平協が支援するプロジェクトは、「人身売買・児童労働防止のための啓発ネットワークメンバー・生計向上のための自助グループの能力強化事業」です。

この活動は、主にカンボジアの最も貧しい地域のひとつであるスバイリエン州で行われています。

ある統計では、カンボジアでの5歳から14歳までの児童労働の割合は、45%にも達するといえます。それに加えて、子ども売春、子どもポルノ、子どもの人身売買という最悪の形態の児童労働が深刻な問題となっています。

国際子ども権利センターでは、カンボジアの子どもを性的搾取や

強制労働から守るため、人身売買防止ネットワークづくりと、貧困家庭の収入向上プログラムを現地NGO「HCC（子どものためのヘルスケアセンター）」とともにを行っています。

### 地域でのネットワークを

スバイリエン州では、2006年より子どもたち自身と地域のリーダーによって構成される「人身売買・児童労働防止ネットワーク」などを結成し、地域の村長や僧侶、先生や高校生に人身売買業者が村に入ってきたときに警察に通報したり、子どもを都会に出稼ぎにやろうとする親たちを説得して引き止めたりと、学校や地域で啓

発活動を行っています。

また人身売買・児童労働の被害にあうリスクが高い子どもがいる貧困家庭には、収入向上プログラムとして、貧困のため子どもを出稼ぎに出さざるを得ないような家庭に対して文房具やお米を支給することで生活状態の改善を図り、人身売買のリスクを軽減するアプローチなどを行っています。

今後さらに多くの人々をトレーニングし、防止ネットワークを広げていけるよう、また、貧困家庭の少女たちが学校に通うことができるよう、継続的な支援を続けていく必要があります。

浄平協でも、今後長い支援ができればと考えています。



スバイリエン州のお寺でグループディスカッションをするネットワークの子どもたち

## 「第4回浄土宗平和賞」×切り迫る ～ぜひ多くの推薦をお願いします～

社会参加する寺院を支援し、顕彰する「浄土宗平和賞」（JPA主催）の推薦締め切りが、来年1月末日に迫っています。この賞は、浄土宗の教義を広め、儀式を行うという寺院の活動にとどまらず、「社会参加する仏教」を志向し、平和活動、国際交流活動、環境保護活動、地域福祉活動など、幅広い分野で公益のための活動を行っている浄土宗寺院・教師または浄土宗教師が代表（中心的な役員）を務める団体を顕彰し、支援するものです。また同時に浄土宗平和協会の広報誌「ダーナ」などを通じて受賞寺院（浄土宗教師）の活動内容や、ノウハウなどの情報を提供し、活動事例として各会員に社会参加型事業への取り組みを啓発、醸成することを目的として創設されました。

### ◆賞の内容

賞状・平和賞レリーフ（三橋國民氏作）・副賞（50万円）

### ◆表彰対象

1. 浄土宗寺院・教師
2. 浄土宗教師・寺族が代表（中心的な役員）を務める団体

### ◆選考方法・表彰

浄土宗平和協会の理事会によって選考し、浄土宗平和協会総会の席上、表彰し副賞を授与します。

### ◆募集方法

1. 公募（自薦他薦問わず）
2. 教区長、教化団長、教化センター長、並びに浄土宗平和協会会員による推薦

### ◆応募・締切

応募の締切は平成24年1月末日です。

### ◆受賞対象の活動事例について

以下は候補となる活動事例の一部を挙げたものです。  
 ※国際交流団体を寺族及び檀信徒が中心になってつくり、海外の恵まれない人々への教育・医療・福祉その他の人道支援を継続的に行っている。  
 ※日本で生活する留学生に奨学金を送り、生活の支援を行っている  
 ※日本文化の紹介のために、地域と一緒に、寺院を会場にお茶やお花、能楽などのフェスティバルを行い国際交流を図っている。  
 ※地域NGOを組織し、伝統的景観保存、地域文化保存など“まちづくり”運動を行っている。  
 ※福祉NGOを地域の方々と共同して設立し、自殺防止活動、引きこもり対策などの青少年の育成事業を行っている。  
 ※地域交流のイベントを主催し、周辺住民の親睦を図ると共に周辺の教育環境等の整備や地域の福祉を推進している。

### 《推薦書送付先／お問合せ》

JPA東京事務局（平和賞担当：杉浦靖俊）  
 〒191-0011  
 東京都野市日野本町2-12-13  
 大昌寺内  
 TEL：042-581-2125 FAX：042-581-2125

## テラ・ネットの被災地支援活動

本年度第3回浄土宗平和賞を受賞した海外教育支援団体テラ・ネット（Terra Net＝堀真哲代表）が、3月11日に発生した未曾有の東北大震災の支援活動を行っている。

テラ・ネットは95年の阪神大震災をきっかけに、九州の浄土宗僧侶を中心に結成され、これまでスリランカ、チベット、バングラデッシュなど6カ国の教育施設を建設してきた。東日本大震災に対しては、その被害の深刻さから、会員一同で支援を決定。4月19日には現地に入って、石巻市の西光寺を拠点に、建物、がれき

の撤去、市内の避難所への物資配給などの作業を1週間にわたって展開した。次いで2次支援5月25日から、3次支援6月30日から、4次支援は、テラ・ネット顧問の濱田智海さん（水俣市西生院住職）が、同市の青少年とともに支援に入った。5次は10月末から、仮設住宅の入居も進み仙台市、塩釜市、陸前高田市などの調査を行った。これまで浄土宗のネットワークを使い、仙台市慈恩寺、同市照徳寺、石巻市雲上寺各御寺院のご協力をいただいたという。

12月27日には、支援の報告会を兼

ねて浄土宗平和賞受賞祝賀会を行い、さらには1月10日から第6次の支援を行い仙台市ほかの仮設住宅などで炊き出しを行う予定。代表の堀真哲さん（飯塚市真福寺副住職）は「平和賞の副賞のお金を含め、募金いただいたものすべてを現地のお役に立てたい」と話す。



被災地での支援活動の様子



未曾有の震災である東日本大震災の被害者支援を行う浄土宗平和協会緊急募金の最終集計がまとまった。実施期間は今年4月1日より11月30日まで、対象は浄土宗平和協会の会員に限って行ったが、募金総額が9,006,009円にのびた。会員諸氏の皆さまへ、この場をお借りして深く感謝の念を表明する。

支援先は、浄平協とNGOの関係を生かして、3つのNGOと全日本仏教会、うちシャンティ国際ボランティア会は宮城県気仙沼市と岩手県遠野市に現地事務所を置き活動している。詳しくは、それぞれのレポートを参照してほしい。

支援先は……

- ①日本国際ボランティアセンター (JVC) 2,000,000円
- ②パレスチナ子どものキャンペーン 2,000,000円
- ③シャンティ国際ボランティア会 (SVA) 2,000,000円
- ④全日本仏教会 2,831,595円

なお、残額(174,414円)は、平和基金に積み立てる予定。

### JVC活動中間報告



南相馬の生放送中のスタジオ

東日本大震災への対応としてJVCは、宮城県気仙沼市と福島県南相馬市で活動を行っている。

「漁業」の町で知られる気仙沼は、今回の震災を受け9,500世帯が被災し、1,029名が亡くなった。津波により港は破壊され、漁業に従事していた住民の多くが仕事を失った。

JVCは3月30日から気仙沼市の社会福祉協議会が中心になって立ち上げた災害ボランティアセンターの運営支援を開始した。全国からは6月末までに23,000人を超えるボラ

ンティアが気仙沼市を訪れた。JVCはこうしたボランティアが被災地で十分に力を発揮できるよう、また安全を確保できるよう支援を行ってきた。5、6月には水道復旧が遅れている地域で飲料水以外の生活用水の給水支援を実施した。給水支援を行うことにより、それまで週2回だった入浴が毎日できるようになった。

また、8月からは鹿折地区を対象に、住民の個別ニーズに対応すべく生活支援、地域住民が集う場作り支援を開始した。津波により家屋を流失した住民の中には鹿折を離れた人も少なくない。震災によってバラバラになってしまった地域住民がもう一度集い、今後の地域の復興を話し合っていきたいという自治会の意向を受け、10月には東北の郷土料理「芋煮鍋」を囲む集会を開催した。久々に顔を合わせた住民同士は、お互いの無事を確認し合い地域の将来を話し合う機会になった。

JVCは、これからも住民の声に耳

を傾けながら、住民のよき相談役となり、復興に向けた住民の努力を陰ながら支えていきたい。

南相馬市は、海岸から約40平方キロにわたり壊滅的な被害をこうむり、約650人の死者・行方不明者が出た。震災直後に起きた福島第一原子力発電所の事故のため、市南部小高区に避難指示が出、中央原町区は屋内退避区域になった。多くの人が市外に避難し、一時は7万人の人口が1万人にまで落ち込んだ。市民への情報伝達が急務とされたが防災無線が津波で流されたため情報を市民に伝える手段が無かった。

そのため、南相馬市は4月に臨時災害放送局(大規模震災時に臨時で開局されるラジオ局)を開局した。しかし、放送を聞くためのラジオが無かったり、運営の基盤が極めて脆弱なため放送は難航した。JVCは南相馬市から支援の要請を受け、5月にラジオ1,200台を現地に搬送、同月中旬からはメディアでの職務経験のあるスタッフを現地に送り、放送の運営支援にあたっている。

当初は2人のみだった地元のスタッフも現在では非常勤を含めて12人にまで増え、放送内容も充実してきた。今後は市民の声を集め、共有する、復興の一助となるようなラジオ局を目指している。

### パレスチナ子どものキャンペーン活動中間報告

3月11日の東日本大震災の被災地、岩手県大槌町にも本格的な冬が訪れています。ほとんどが流失した市街地は海からの風と山からの吹き降ろしにさらされ、体の芯まで冷



住民参加のさんまバーベキューの様子

たくなります。でもこのからっ風が特産の「南部鼻曲鮭」を産んだのです。

大槌は町の52%が浸水。中心地は火災にもあい、死者と行方不明者は人口の1割、1400人にのぼります。町の商店はすべて流され、小学校は5校のうち4校が被災、中学校も2校のうち1校が被災しました。

パレスチナ子どものキャンペーンは、3月26日から大槌町の避難所に入りました。中東のパレスチナで、戦争の被害にあっている子どもたちの支援を長年続けてきた経験から、子どもたちが安心して笑え、遊べる環境づくりを第一に考えて活動を続けています。3月4月は、多くの子どもたちが状況に対応できず、様々な辛い思いやストレスを当会のスタッフにぶつけていました。でも数週間も経つと、子どもたちも笑顔を見せるようになり、行動も落ち着いてきました。そして避難所での経験は子どもたちを大きく成長させました。現在は、仮設住宅地で放課後対応をしながら、子どもが安心して過ごせる居場所作りとして、仮設でない児童館の建設を進めているところです。

当会が3月から継続している被災地で拾得された写真やアルバムの整理や清掃と持ち主への返却も、中東での経験から始めたものです。これまでに6,000冊以上のアルバムと数万枚以上の写真を整理し、2,500人以上の方がご自分や家族の思い出を取り戻されました。また今後に向

けてデータベース化と、町への移管を予定しています。

避難所での炊き出しや物資配布、また仮設住宅への収納家具の納入や炊き出しなどの活動も継続してきました。現在は「最初の冬」をみんなが無事に乗り切れるよう、地元住民の方たちが主体になるセイフティネット作りに移行しているところです。被災直後から、各避難所で組織だった活動が始まったこと、文字通り老若男女が助け合って共同生活をしてきたこと、人の持つ復元力や共同体の強さなど、被災者の方々から私たちは様々なことを教わりました。また、震災後いち早くパレスチナの人たちが被災の状況に心を寄せ、ボランティアに行きたいとまで言ってくれたことにも感銘を受けました。痛みを知るからこそ他者の痛みも理解し、心を寄せるのだと。当会では3月末まで、大槌町での活動を続けます。

### SVA活動中間報告



小泉中学校校庭応急仮設住宅での茶話会

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)では、これまでの国内外20を超える災害復興支援の経験を最大限に活かし現在、宮城県気仙沼市と岩手県遠野市に現地事務所を開設して支援活動を行っています。

【SVA気仙沼事務所の活動】緊急救援から復興支援へと移る

にあたり、何よりもまず地域住民とその人々の気持ちとをつないでいくことが、求められています。

住宅の流出により以前住んでいた地域から離れることを余儀なくされた人々、また被災の度合いにより、立場の違いが生まれ人々の心もどこか離れ離れになりつつあります。

現在、地域コミュニティ支援(仮設住宅でのイベント、行茶/青空カフェの実施など)、子ども支援、炊き出しと多岐に渡っているSVA気仙沼事務所の活動ですが、ゆくゆく気仙沼がひとつの街として、再生・復興していくために、根幹となる活動は、人と人との関係づくりであり、コミュニティづくりであると考えています。この土地に住む地域の人々が、少しでも前へと踏み出していけるよう、地域に根差し、人々によりそった支援活動を行っていきます。

### 【SVA岩手事務所の活動】

岩手県では津波で壊滅状態になったり、図書が流出した公立図書館があります。一生の支えになる本を届けるために、また本を通じて人々が集える場を作るためにいわてを走る移動図書館プロジェクトがスタートしました。

岩手の沿岸部に本を!移動図書館車に本を積んで、仮設住宅を中心に巡回しています。本の貸し出しはもちろん机やいすを用意していますので、立ち読みやおしゃべり、お絵かきを楽しむのも大歓迎。読みたい本のリクエストにもお応えしています。

地元や外部の関係者と協力しながら、おはなし会、映画上映、落語、カフェなどのイベントも行います。

7月17日の初めての運行から8月末までに36回の移動図書館を行い、433人が利用、901冊の本が借りられました。

## 浄土宗平和協会 (JPA)

### ◎ 会員募集

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワークとして、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。



第3回浄土宗平和賞受賞団体のテラ・ネットによる震災支援活動の様子

### [入会要項] 浄土宗平和協会 (JPA) の活動にあなたも参加しませんか？

#### ◎ 正会員

対 象……………浄土宗教師・寺族  
会 費……………年間10,000円

#### ◎ 賛助会員

対 象……………檀信徒、企業や宗教法人以外の団体  
会 費……………檀信徒会員 年間 2,000円  
法人会員 年間 10,000円 (一口)

正会員は、入会時に「私たちは平和を祈念します」と記された会員プレートを贈呈します。賛助会員は、応援に感謝を込めて会報ダーナに芳名を掲載します。正会員、賛助会員は、スタディーツアーに割引料金で参加できます。

### ◎ 平和念仏募金のお願い

平和念仏募金は、各NGO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、社会参加するお寺院を顕彰する浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

恐縮ではございますが、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ◆平和念仏募金は、浄土宗劈頭宣言にある愚者の自覚に立ち返り、「世界に共生」する平和・福祉・環境・人権などの諸問題に取り組むための募金です。
- ◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する、との方針のもと、国

- 際的に活躍するNGO (非政府組織) を支援しています。
- ◆私費留学生希望図書支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生へプレゼントする書籍の購入費として役立たせていただきます。

### JPA 浄土宗平和協会4つ活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 スタディーツアー・NGO支援

#### 浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……………荻野順雄	監 事……………梶谷正道
副理事長…………小泉顕雄	塩竈義明
小林正道	専門委員…………戸松義晴
理 事……………橋田邦俊	茂田真澄
石上源應	事務局次長…服部光雅
山川正道	事務局……………中野隆英
深谷雅子	杉浦靖俊
金田進徳	齋藤隆尚
東海林良雲	鍵小野和敬
事務局長…………川副春海	大島康裕
参 与……………長島善雄	嘉藤哲也

ご希望の方には詳しい案内の掲載された協会のパンフレット(入会用振込用紙つき)を郵送させていただきますので、協会までご請求ください。

浄土宗平和協会 (JPA)  
〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内  
電話075-525-0484 Fax075-531-5105

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター  
〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-12-18  
電話03-3855-8781 Fax03-3855-8782 メールjpa-info@jodo.or.jp  
郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】

